

大切な甲賀市の自然⑩

甲賀市内にすむ絶滅が心配される動植物やそれらを育む大切な自然についての連載です

タカの仲間 オオタカ

ワシやタカはタカ科に属する鳥類で、大型の種が多く、鋭いくちばしや目・爪を持っており、もうきん類とも呼ばれます。

大自然にすむ特別な野鳥と思う方もいるでしょうが、市内では5種類のタカが繁殖しています。中でもオオタカは、市内の身近な里山に一年中すんでいるタカです。

オオタカは、名に合わず、実際はカラスほどの大きさです。雄の翼上面が青灰色のため、「あおたか」と呼ばれたのが、「おおたか」と変化したようです。樹林や野原を巧みに飛んで獲物を捕まえるため、お殿様が鷹狩りに使ったのも、主にオオタカです。

オオタカのなわばりは、巣を中心にして半径2km程もあります。特に子育ての時期は、餌となる鳥類（キジやハト、カモ等も）やネズミなどを多く捕まえるため、広いなわばりが必要なのです。

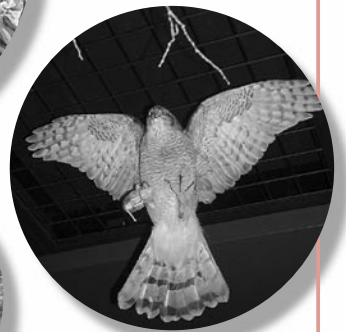
身近な里山にすむオオタカですが、多くの生き物を捕まえるため、自然の残る地域にも、数羽ずつがすんでいるだけです。また、巣をつくる場所は、狭い森の場合でも、マツなど大きな木がある静かな環境です。

(オオタカ：滋賀県の絶滅危機増大種)



◀オオタカの若鳥 市内の建物に飛び込み保護された個体

▼オオタカが飛翔する姿 自然館の剥製



◀アカマツ上のオオタカの巣 市内で繁殖を確認した巣。直径約1mの大きさがある。

2月の休園日

5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)

みなくち子どもの森自然館
☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会 芸文欄

今回は信楽町文化協会からお寄せいただきました。

信楽冠句連盟

信楽芸術祭参加冠句輯 上座抄

- ・素晴らしい土は無限の命生む
- ・冴え渡る一管の笛秋語る
- ・底力家族支える母の愛
- ・月見酒杯に浮かんだ月を酌む
- ・力持ち国宝伽藍の土台石
- ・冴え渡る切れる男の句詠点
- ・力持ち初誕生の餅背おう
- ・取り替えて監督の読み流れ変え
- ・高軒親父の寝顔ひげ笑う
- ・出来上りそつと夫の背に掛け
- ・素晴らしいハンカチ王子榮冠を
- ・高軒無欲の父は佛顔
- ・盛大に耐えて目度き初舞台

志がらき俳壇

- ・紅葉浮く水で米かす袖ぐらし
- ・里山の紅葉を照らす常夜燈
- ・院を出て曲り道なる紅葉かな
- ・裏山に人の気配の薄紅葉
- ・紅葉晴陰で休みし村社
- ・観る人の無口なりしや秋の展
- ・開帳の紅葉道ゆく奥の院
- ・かすかなる初穀焼く香草紅葉
- ・鳥渡る病の人の爪伸びし
- ・神域に帯目深し鳥渡る

短歌 地中海信楽グループ

歌稿

- ・畔道を歩けば蝗わが足に当たりても尚繰り返し来る
- ・朝参り早や十年を勤め来て年を経ること低頭深し
- ・「待つ」といふは心だけゆれ動く

信楽川柳教室

- ・新年の誓い半ばで又新た
- ・細い道見知らぬ人もおめでどう
- ・新年に手繰れば尽きぬ糸車
- ・老いてなお時間守れと蒼い月
- ・言いかけて帰って行く月は白く
- ・重そうに雲垂れそうな月昇る
- ・ワンルーム月と話せる窓ひとつ
- ・満月もおぼる月夜も月一つ
- ・名月も中天の果て砲の音

次号(3月1日号)は、甲南町文化協会の予定です。